

涼しさと安全性を両立した 新次元の内装 エアライト PAT. 保安帽

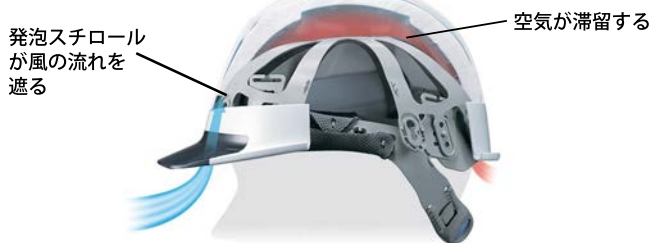


飛来・落下物用検定 取得
墜落時保護用検定 取得
電気用検定 取得

1. 涼しい

新開発の内装「エアライト」と帽体の間に風が流れます。

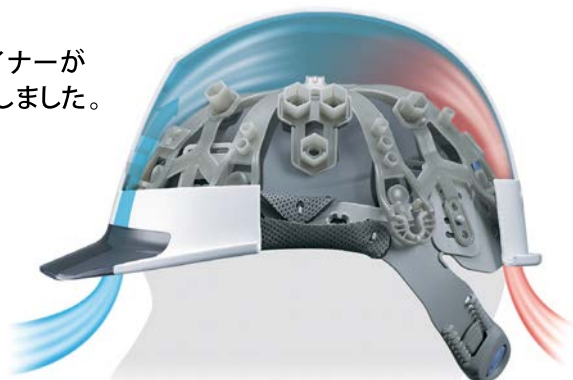
エアライトを搭載したヘルメットは、発泡スチロール製の衝撃吸収ライナーがなくなったことでヘルメット内部に空間が広がり、格段に通気性が向上しました。



イメージ図

従来品の空気の流れ

発泡スチロールが風の通り道を塞ぎます。前方からの風が頭頂部まで入りにくいため、後方から排出しにくくなっています。頭部の熱が逃げず、ムレやすい構造です。

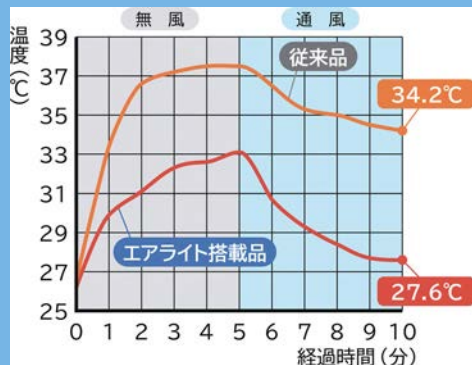


イメージ図

エアライト搭載品の空気の流れ

風の通り道を塞ぐ遮蔽物がありません。前方からの風が頭頂部の広い空間に入り込み、頭部の熱を後方から排出します。湿気も同時に排出するため、ムレにくい構造です。

■従来品とエアライト搭載品の頭頂部付近の温度変化比較 ※1



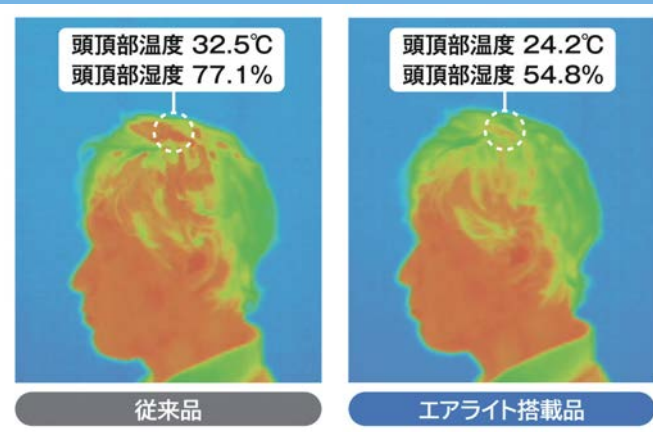
エアライト搭載品は従来品に比べ、温度上昇が緩やかです。通風5分後には試験開始の温度に近い温度に戻っています。これは通風させたことにより、暖まった空気を押し出し、空気を入れ替わっているためです。

試験方法 37℃に設定したサーマルマネキンにヘルメットを着用させ、時間経過によるヘルメット内部の温度変化を内装頂部の1cm上で測定。開始時は無風、5分経過後にヘルメット正面から風速1m/sの風を5分間あてる。

<試験ヘルメット>ST#161型 <試験条件>○室温 26℃○湿度 50%

※1 帽体の形状の違いにより効果は異なります。

■従来品とエアライト搭載品着用後の頭頂温度・湿度比較



試験方法 室温 23℃、湿度 54%の室内でヘルメットを着用して15分間運動した後の頭部の温度・湿度を比較。

■保護帽の材質比較表

帽体の材質によって特性が異なります。適切な材質の保護帽を選択してください。

帽体の材質			性質	耐燃・耐熱性	耐候性	耐電圧性能	耐溶剤薬品性	備 考
熱硬化性 <								

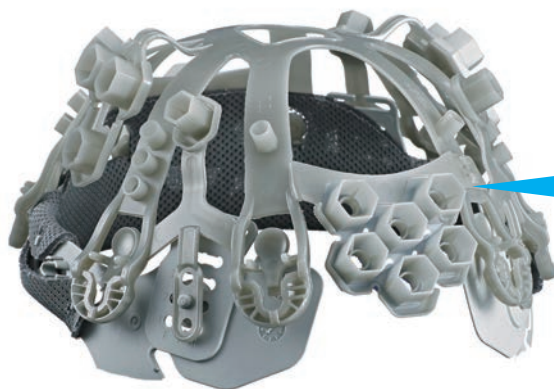
◎ 特に優れている ○ 優れている △ やや劣る × 劣る

2. 安全

従来品の衝撃吸収ライナーと同等以上の性能をもつ「ブロックライナー」

前後左右に配置した「ブロックライナー」は発泡スチロール製の衝撃吸収ライナーと同等以上の衝撃吸収性能を発揮し、墜落時保護用の検定を取得しました。

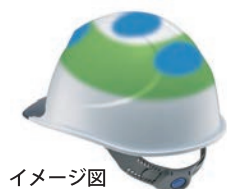
厚生労働省「保護帽の規格」以外に、タニザワが独自に設定したほとんどの試験箇所、エアライト搭載品は従来品と同等もしくはそれ以上の衝撃吸収性能を発揮。墜落時や転倒時にも、しっかり頭部を保護します。



【衝撃吸収性能試験】



ブロックライナーが潰れることで衝撃を吸収します。



イメージ図

「保護帽の規格」の衝撃吸収性能試験

タニザワ独自の衝撃吸収性能試験

3. EPA 付ヘッドバンド

■片手で簡単、ジャストフィットヘッドバンドEPA

EPA(エパ:Easy Push-release Adjuster)は作業中の保安帽のぐらつきを防ぎ、装着性を向上するタニザワ独自の高性能ヘッドバンドです。

ワンタッチでロック解除。
ヘッドバンドを簡単に緩められます。



サイズ調整範囲：53～62cm
3mmピッチの細かい調整

大きくてつまみやすい
サイズ調整レバー

- 片手でジャストフィット
大きなサイズ調整レバーを採用し、保安帽を装着したまま片手で簡単にヘッドバンドを調節できます。また、ワンタッチ・解除ボタンで片手でロック解除できます。
- 下を向いても、ずれにくい。
- 後頭部の違和感も少ない。

4. かんたん交換

内装交換がラクラク。新開発「サムリリース機構」

新開発の「サムリリース機構」はリリースボタンを押しながら、掛け具を動かすだけでかんたんに取り外せます。余計な力を使わずに、スムーズに内装交換ができます。



リリースボタン

かんたん 2 ステップ



1 リリースボタンを押し、ロックを外します。掛け具を帽体の外側へずらします。



2 掛け具を持ち上げて外します。

販売元  船山株式会社

長岡本社：〒940-8577 新潟県長岡市稲保 4-713-2 TEL:0258-25-2780
東京本店：〒104-0052 東京都中央区月島 2-20-15 TEL:03-3532-3601
新潟支店：〒950-0863 新潟市東区御新町 3-51-29 TEL:025-275-3155

製造元  タニザワ 株式会社 谷沢製作所

代理店